

島暮らし、そんなに敷居は高くないぞ！



新近 唯さん

【プロフィール】

広島県出身

2018年9月に大三島に移住

【仕事内容】

『大三島みんなの家』スタッフ
夕方からはワインバルを営業

ももとは岡山県倉敷市のゲストハウスで働いていました。そこで一緒に働いていた仲間たちと、大三島へ旅行に来たことが興味を持ったきっかけでした。この旅行で大三島の美味しい食べ物や、美しい景色などの魅力に惹かれ、次に住むなら大三島がいいと思い、2018年の9月に移住してきました。

そうはいつでも、いきなり移住を決意するのは勇気がいることだったので、大三島にお試しで1か月間滞在してみることにしました。その滞在期間中に、大三島でなら楽しく暮らしていけると確信しました。住む場所や働く場所もなんとなく目途が立っていたので、大三島への移住を決める際に大きく悩むことはありませんでした。移住に際しては、実際に自分がこの場でやっていけるのかどうかを把握するためにも、まずは滞在してみて、島での暮らしを少しでも体験してみる事が大切です。

大三島は自然が豊かで食べ物もおいしく、お祭りなどの行事も盛んで、子どもから大人まで地域の人と仲良くなれることが暮らしの中での楽しみです。島の人は親切でおおらかな方が多いです。移住者もとても多いですね。休日は瀬戸内のほかの島へ遊びに行き、カフェ巡りを楽しんでいます。帰りが遅くなるとイノシシが出ることで、スーパーなどのお店が早く閉まってしまうということが、島ならではの悩みです。

ワインバルにもっと多くの人に訪れてもらうことが今の目標です。大三島みんなの家では、夜6時頃からワインバルを営業しており、旬の食材をつかったごはんやおつまみ、島で作られたワインが楽しめます。お客さんは観光客の方が多いですが、最近では島の人も参加して一緒に楽しむイベントなども企画しており、島内のお客さまも増えてきました。また、移住を検討している島外のお客さんが来てくれることもあります。今後も、もっとたくさんの方にお店に足を運んでいただけるよう頑張ります。これからも人との縁を大切にしていきたいです。



【移住を考える人へ】

島内には、島での暮らしを体験できるシェアハウスもあります。まずは2~3週間でも滞在してみて「島暮らし」を体感してみてください。どうでしょうか。

